読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

〈新刊案内〉▽子どもと一緒にお料理しましょ！（上田淳子）▽ちょうちんそで（江國香織）▽冬芽の人（大沢在昌）▽いちばん長い夜に（乃南アサ）〈児童書〉▽大人にウケる子どもの質問たのしい雑学（新講社）▽ズッコケ中年三人組ａｇｅ46（那須正幹）▽こないかな、ロバのとしょかん（モニカ・ブラウン／ジョン・バッラ／訳斉藤規）▽真夜中の動物園（ソーニャ・ハートネット／訳野沢佳織）▽そこに僕は居合わせた〈語り伝えるナチス・ドイツ下の記憶〉（グードルン・パウゼヴァング／訳高田ゆみ子）▽へんてこサーカス（フィリケえつこ）▽くるくるなあに？（やまもとしょうぞう／てづかあけみ）▽ねむねむくんとねむねむさん（片山令子／片山健）▽子どもクッキング〈ママと作る休日の朝ごはん〉（葛恵子）▽二つの月物語（富安陽子）▽あの路（山本けんぞう／いせひでこ）▽津波をこえたひまわりさん（今関信子）▽かえりみちはひみつのにおい（ふじたなほみ／はせがわかこ）▽はじめてのはなかっぱげんきにあいさつ（あきやまただし）▽はじめてのはなかっぱももかっぱなにいろ？（あきやまただし）▽はじめてのはなかっぱはなさけぱっか～ん（あきやまただし）▽かいけつゾロリはなよめとゾロリじょう（原ゆたか）▽かいけつゾロリのはゃめちゃテレビ局（原ゆたか）

■みずうみ読書の家

〈一　般〉▽モンスター（百田尚樹）▽こうして死ねたら悔いはない（石飛幸三）▽一路〈上・下〉（浅田次郎）▽冬の旅（辻村登）▽再会・状箱騒動（佐伯泰英）▽桜ぼうさら（宮部みゆき）▽大迷路（逢坂剛）▽鉞子（内田義雄）▽ハピネス（桐野夏生）

〈ロータリー文庫〉▽観光地の自然学（小泉武栄）▽地球全史の歩き方（白尾元理）▽巨大津波（ＮＨＫスペシャル取材班）

●開館時間
午前10時より午後４時20分まで

●６月休館日
13日・20日・27日・７月４日・11日
（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた読書の家☎76-2100
みずうみ読書の家☎75-4702

今月の１冊

「ろばのとしょかん」

ジャネット・ウィンター作
福本友美子訳

小さな２頭のろばに、本をたくさんつんでルイスは山をのぼり、山をくだり、はるかとおくの村にむかいます。こどもたちは、ろばのとしょかんがくるのを楽しみに待っています。南アメリカのコロンビアにほんとうにある「ろばのとしょかん」の話です。

わたしのうた

短歌【あぶた短歌会】五月定例会

お花見の予定立てれど桜花咲かず　　北島加代
　ストーヴたきて暖を取りをり
雪わりてギョウジャにんにくあでやかに　　山木孝
　春を味ふおひたしにして
草の青ふとまぶしかり無意識に　　大西芳子
　老を生きいる　この幸せを
春寒きつぼみのままに自治会の　　太田智
　桜花（はな）の宴はとうに終へたり
愛犬も春眠なるかうつろな目　　元田フジ子
　あたりながめてまた眠り入り

俳句【あぷた俳句会】五月定例会

父走り子は追い凧は風に向き　　小笠原勇
救急の音ひた走る朝霞　　那須伶子
シナリオに無い今頃の名残雪　　三瓶修
みはるかす浦のふくよか春霞　　菅原敏子
鳥雲に更地となりし友の家　　井村育子
春光を紡ぐ湖面や浮寝鳥　　矢野知子